

# 平成27年度 わくわく節水実践コンクールにおける取組の報告

熊本市立北部東小学校

## 1、宣言

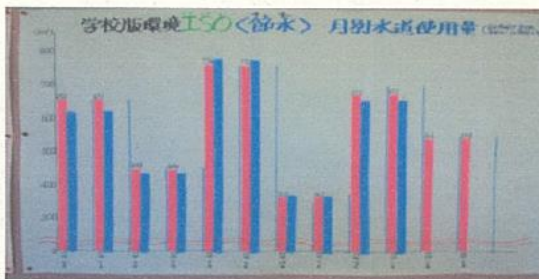
節水を心がけ、水道使用量が基準年度より5%減をめざします。

- ①水を大切に使います。
- ②バケツやペットボトルを使い、使用する水を少なくします。
- ③水資源についての学習を深めます。(水検定3級取得にチャレンジ)

## 2、行動の取組と記録

### ① 水を大切に使います。

本校では、ここ数年に渡り、前年度比5%減をめざして活動してきたが、なかなか効果が上がらず苦心していた。そこで、水道使用量をグラフにし、視覚化して児童に掲示することで、節水意欲を高めることとした。



平成26・27年度 水道使用量のグラフ



水の止め忘れを防ぐため、蛇口を下に向ける

### ②バケツやペットボトルを使い、使用する水を少なくします。

掃除時には、バケツを使って雑巾を洗ったり、トイレや廊下を水洗いしたりしている。また、習字の時には、ペットボトル1杯分の水で筆を洗ったり、絵の具のパレット洗いも水洗いバケツ一杯分の水で行ったりしている。



{バケツやペットボトルを利用した節水行動}

バケツやペットボトルの利用については、児童の意識も高く、毎日の積み重ねができている。トイレの水流しには、ジョウロを使っている学年もある。

### ③水資源についての学習を深める。

校区内に「浄化センタ」があり、下水道については出前講座や見学で、4年生を中心に学習を深めている。また、水の科学館も歩いていける距離にあり、「総合的な学習の時間」に調べ学習に行く児童も多い。

さらに本年度は、4年生全員と希望者を対象に、くまもと「水」検定に挑戦した。親子での学習機会も設定し、挑戦した全ての児童が「3級」を取得することができた。

### 3、見直し

今年度の「節水実践」は、これまでの取組を全校児童にさらに意識付け、一人一人が行動に移せるような具体的な取組とした。毎日の生活の中で、上級生の行動を真似したり、児童が考えた節水行動を生かしたりして実践してきた。

その中で、水使用量グラフを応用紙にして掲示したことは、特に上学年の児童が意識を高めることに役立ち、掃除時間のバケツ活用につながっている。ただ、水飲みや手洗いなどの場面ではまだ節水意識が薄く、水を出しっぱなしにしている様子が見られる。

結果的には、基準年度比5%減は達成できておらず、さらに具体的な取組を考える必要がある。

本年度提案した、くまもと「水」検定などの取組の他にも、節水コマの取り付けやポスター掲示、放送での呼びかけなど、委員会活動や校内での取り組みをさらに進め、来年度も全校あげて節水に取り組んでいきたい。